

機能安全 コンサルティング



Consulting of Functional Safety

JARIの機能安全コンサルティングの特徴

- 確かな実績
 - ・国内自動車メーカー数社の開発プロセスをレビュー
 - ・国内サプライヤの製品開発全領域(システム,ハードウェア,ソフトウェア)についてフルアセスメントを実施
 - ・国内自動車メーカー・サプライヤと、ISO 26262の運用課題について共同研究を主催し、All Japan活動を主導
- 豊かな知見
 - ・共同研究活動により得られた開発現場の事情や業界相場観の蓄積
 - ・欧州自動車メーカー・コンサルとの情報共有により、欧州事情に精通
 - ・Automotive SPICEのリードアセッサとして実績あるコンサルタント

JARIの機能安全コンサルティングの強み

- ★ ”徹底的なものづくり視点”での活動のご提供
- ★ 機能安全製品開発に関する最新の情報・知見を用いたアドバイス
- ★ プロセス改善アプローチに基づく開発現場重視の機能安全活動

Part 1. 用語集		
Part 2. 機能安全の管理		2-7 アイテムの生産に向けたリリース後の安全管理
2-5 全体的な安全管理	2-6 コンセプトフェーズ及び製品開発中の安全管理	
Part 3. コンセプトフェーズ 3-5 アイテム定義 3-6 安全ライフサイクルの開始 3-7 ハザード分析及びリスクアセスメント 3-8 機能安全コンセプト	Part 4. システムレベルにおける製品開発 4-5 システムレベルにおける製品開発の開始 4-6 技術安全要求の仕様 4-7 システム設計 Part 5. ハードウェアレベルにおける製品開発 5-5 ハードウェアレベルにおける製品開発の開始 5-6 ハードウェア安全要求の仕様 5-7 ハードウェア設計 5-8 ハードウェアアーキテクチャメトリックの評価 5-9 ランダムハードウェア故障による安全目標侵害の評価 5-10 ハードウェア統合及びテスト	4-11 生産に向けたリリース 4-10 機能安全アセスメント 4-9 安全妥当性確認 4-8 アイテム統合及びテスト Part 6. ソフトウェアレベルにおける製品開発 6-5 ソフトウェアレベルにおける製品開発の開始 6-6 ソフトウェア安全要求の仕様 6-7 ソフトウェアアーキテクチャ設計 6-8 ソフトウェアユニット設計と実装 6-9 ソフトウェアユニットテスト 6-10 ソフトウェア統合及びテスト 6-11 ソフトウェア安全要求の検証
Part 7. 生産及び運用 7-5 生産 7-6 運用, サービス(保守と修理), 及び廃棄		
Part 8. 支援プロセス	8-5 分散開発でのインタフェース 8-6 安全要求の仕様及び管理 8-7 構成管理 8-8 変更管理 8-9 検証	8-10 文書化 8-11 ソフトウェアツールの使用への信頼 8-12 ソフトウェアコンポーネントの適合性確認 8-13 ハードウェアコンポーネントの適合性確認 8-14 使用実績による論証
Part 9. ASIL指向及び安全指向の分析		9-5 ASILテラリングのための要求のデコンポジション 9-6 エlement共存に関する基準 9-7 従属故障の分析 9-8 安全分析
Part 10. ISO26262 ガイドライン		

項番	業務委託概要	業務詳細	ISO 26262対象Part	Automotive SPICE対象プロセス	対象組織
1	開発着手からRFQ発行までのプロセスを開発する。	「車両企画→セールスポイント抽出→RFQ発行」における一連のOEM業務に機能安全要件を実装(SG確立, ASIL決定, DIA作成等)しプロセスを開発する。	Part 2 Part 3 Part 4	Man.3 Eng.1~3	OEM開発組織
2	RFQ発行後のOEM内部開発プロセスを開発する。(ハードウェア開発)	OEM内部開発組織ハードウェア部門の機能安全要件実装開発プロセスを開発する。	Part 5	ハードウェア開発プロセス	OEM開発組織
3	RFQ発行後のOEM内部開発プロセスを開発する。(ソフトウェア開発)	OEM内部開発組織ソフトウェア部門の機能安全要件実装開発プロセスを開発する。	Part 6	Man.3 Eng.4~8	OEM開発組織
4	OEM内の機能安全アセスメントプロセスを開発する。	機能安全アセスメント計画を作成し対象組織と合意、以降、アセスメント対象組織の開発工程に従った機能安全アセスメントプロセスを開発する。	全Part	全プロセス	OEMアセスメント実施組織
5	RFQ発行後の対Tierサプライヤへの機能安全アセスメントプロセスを開発する。	機能安全アセスメント計画を作成し、サプライヤアセスメント対象組織と合意、以降、アセスメント対象組織の開発工程に従った機能安全アセスメントプロセスを開発する。	主として、Part 2 Part 4~Part 6 Part 8	主として、Man.3 Eng.4~8 SUP8	OEMアセスメント実施組織
6	OEM開発組織への機能安全アセスメントの実施。	機能安全アセスメント計画を作成し、OEMアセスメント対象組織と合意、以降、アセスメント対象組織の開発工程に従った機能安全アセスメントを実施する。	全Part	全プロセス	OEMアセスメント対象組織
7	RFQ発行後の対Tierサプライヤへの機能安全アセスメントの実施。	機能安全アセスメント計画を作成し、サプライヤアセスメント対象組織と合意、以降、アセスメント対象組織の開発工程に従った機能安全アセスメントを実施する。	主として、Part 2 Part 4~Part 6 Part 8	主として、Man.3 Eng.4~8 SUP8	サプライヤアセスメント対象組織

WEBからのお問い合わせはこちら

ITS研究部 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30

日本自動車会館 12階

一般財団法人日本自動車研究所 Tel: 03-5733-7925 / Fax: 03-5473-0655

E-mail: fs_info@jari.or.jp